



シルバーだより

道標

第12号

H30.7.25

理事長

これからのシルバー人材センター

2

特集

平成三十年定時総会開催

3
4

組織

新役員紹介

4

草取部会発足

5

会員の手記「その一」

6

ボランティア活動のお願い
新入職員紹介

7

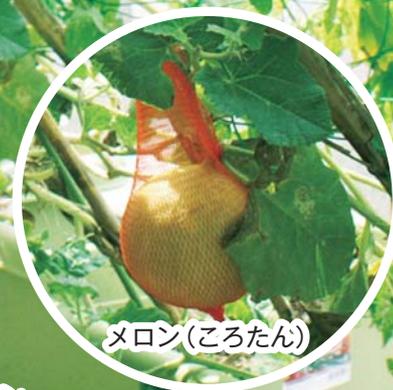
掲示板

8

一会員一名増強運動実施中!



ゴーヤ



マロン(ころたん)

育成指導員(シルバー会員)と子どもたちが育てた緑のカーテン

理事長あいさつ

これからのシルバー人材センター

会員皆様方には、平素から、当センターの事業運営にご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

ご案内のとおり、我が国におきましては、超高齢社会、人口減少社会を迎え、労働力人口の大幅な減少が見込まれる中で、誰もが活躍できる社会、とりわけ、働く意欲のある高齢者が、生涯現役で活躍することができ、社会の実現が強く求められています。

こうした中、高齢者に就業機会を提供し、地域の活性化にも寄与するシルバー人材センターへの期待は、益々高まっております。一昨年閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」や、本年二月の「高齢社会対策大綱」におきましても、シルバー事業の推進が掲げられているところでございます。

当大分市シルバー人材センターにおける、平成二九年度の事業実績につきましては、会員数は、三月末で一五〇九人となり、八年ぶりに、一五〇〇人の



理事長 右田 芳明

大台に乗せることができました。しかしながら、今後、団塊世代の方が七〇歳を迎え、企業等において定年延長や再雇用が進む中、六〇歳台、特に六〇歳台前半の会員の確保は難しくなってくるものと考えております。

また、受注金額は、請負・委任が五億九四二〇万円と、前年度に比べて、三二二七万円の増、シ

ルバー派遣事業は四七五六万円と、一四七三万円の増となっており、全体では、六億四一七七万円、前年度に比べ四七〇〇万円の増となり、大きな実績を上げたところでございます。

今後とも、特に、派遣事業収益を向上させるとともに、適正就業の観点にも立ち、「請負・委任」から「派遣」への切り替えも、進めてまいりたいと考えております。

また、安全就業につきましては、事故発生件数は、ここ数年減少傾向にありましたが、二九年度は二五件と、前年度の二一件を上回る結果となり、事故原因等を分析し、その対策を講じてまいりたいと考えております。

本年度における当センターの重点課題は、まずは「会員数の拡大」であります。本年度は、全シ協の「第二次会員一〇〇万人達成計画」の初年度に当たり、当センターにおきましても、中期計画に、一六三〇名という高い目標を掲げています。

一会員一名増強運動の展開や、

折込チラシによる広報、さらには、新会員を紹介した会員へ謝礼を行うことなどにより、会員の獲得に向けた取組を積極的に進めてまいりたいと考えております。

また、就業開拓員を増員したところであり、スーパー等の商品管理や福祉施設の管理業務等について、新規事業の開拓・拡充に取り組んでまいります。

さらに、新たに参画いたしました介護予防・日常生活支援総合事業や、児童育成クラブ事業についても、より一層、充実強化を図ってまいりたいと考えているところでございます。

結びになりますが、高齢者に対する社会の期待が益々高まる中、当センターにおきましては、会員の増強はもとより、複雑多様化する地域ニーズにしっかりと応えながら、地域に信頼される、地域に必要な組織として充実させてまいりたいと考えておりますので、会員皆様方には、これまで以上に、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度 定時総会開催

去る六月六日(水)午後一時三十分より大分市コンパルホール(文化ホール)において平成三十年定時総会が開催されました。



入場を待つ会員のみなさん

総会に先立ち会員表彰式が行われ、三十九名の方へ理事長より賞状と記念品が贈呈されました。



表彰状の贈呈



謝辞を述べる河野会員

受賞者を代表して河野正輝会員から謝辞が述べられました。



理事長のあいさつ

総会に入り、右田理事長の挨拶があり、長年に亘りシルバー人材センターの取り組みに貢献を頂き表彰を受けられた会員への感謝と今後のご活躍を述べられました。二十九年度は前年実績を上回ることができた事、今期は更なる飛躍をめざし新規会員の増強、新規就業先の開拓などに取り組んでいくことを述べられました。

次に来賓の大分市長様(代理 出席副市長桑田竜太郎様)、大分市議会議長野尻哲雄様より祝辞を戴き、次いで大分県シルバー人材センター連合会常務理事の藍畑則文様のご紹介と連合会様よりの祝電が披露されました。議案審議に先立ち議長に木下



市長のあいさつ



市議会議長のあいさつ

和子さん(八幡班)を選任し審議に入りました。

第一号議案…平成二十九年度事業報告 第二号議案…平成二十九年度収支決算報告並びに監査報告 第三号議案…定款の一部改正 第四号議案…役員を選任 の各件について、事務局長より説明が行われいづれも原案通り可決承認されました。



事務局長の議案説明



来賓のご挨拶

以上全ての審議が終了し、続いて新役員三名の紹介がおこなわれました。最後に宮崎英子理事の閉会のことばにより総会を

一、会員増強を推進「一
会員一名増強運動」
二、財政基盤の確立「新
規事業の開拓・既存
事業の拡充」
三、安心安全な就業環境
の確立強化「就業基
準の遵守徹底・部会毎に事
故防止策を検討・実践」
四、組織力の強化「事務局職員
研修の実施・職群班部会の
組織強化、新たに女性部会・
草取部会の設立を検討」
が示されました。

続いて第一号報告…平成二十九年度収支補正予算 第二号報告…平成三十年事業計画 第三号報告…平成三十年収支予算について報告が行われました。
なお今年度の基本方針に基づく重点事項として



熱心に聞き入る会員

終了しました。
出席されました会員の皆様の多大なご協力によりまして、総会が滞りなく進行されましたことに厚くお礼申し上げます。



新役員紹介

● 大分市福祉保健部長

小畑 裕之

担当部会・福祉部会

● 安全委員会代表

幸 義広

担当部会・事業部会

● 剪定部会代表

佐藤 聡

担当部会・事業部会



右より 小畑部長・佐藤理事・幸理事

草取部会の誕生!!

本年2月、シルバー人材センターの主導により、技術の研鑽や連絡網の整備等を目的に「緩やかな」草取部会が発足しました。この背景は、草取会員高齢化や新規就業者激減と草取受注件数増加の現状を、会員相互の連携（お助け）により乗り切ろうとするものです。

部会員は120名（男性71名・女性49名）、会長1名・副会長2名・6地区別に班長と連絡員2～3名を配置しています。又、作業形態は、草取と毎月軽度生活援助（市補助事業）に大別されます。



部会長 中城 正士

平成29年度の草取受注金額は3,466万円（前年比155万円増）で、発注者は、高齢者世帯が最も多く、このほか、共稼ぎ世帯・会社・アパート・空家・公的団体など多様です。又、作業従事形態も一人・二人・三人以上と多様であり、季節や場所により草の種類も様々です。

草取は、いわゆる3Kで大変と思う方が多いと思いますが、「日本一美しい街づくり」の一環であり、また、作業後の爽快感・発注者の笑顔・十分な配分金は何にも代えがたいものがあります。草取部会の周知と充実と新規部会員の確保は大きな課題であり、特に新規部会員は大歓迎します。一緒にやってみませんか！

お知らせ

一会員一名増強運動 実施中

平成三十年度事業計画の重点事項として「会員の拡大」が掲げられています。今年度は強化対策として、ご紹介の入会者一人につき千円の商品券を進呈いたします。おひとり何名でもご紹介をおまちしておりますので、お友達、ご近所、お知り合いの方にぜひ入会説明会のご案内をお願いいたします。

今年度は強化対策として、ご紹介の入会者一人につき千円の商品



なお紹介カードは事務局に設置しておりますので、ご自由にお持ち下さい。

「ふれ愛フェスタ」開催予定

今年も十一月上旬に「ふれ愛フェスタ」を開催予定です。募集要項は後日事務局よりお知らせいたします。

会員さん手作りの作品、農産物などの販売用の出品物、バザー用の品物（未使用品に限る）を募集しております。会員の皆様のおすてきな作品をお待ちしております。



シルバー会員の手記「その二」

会員さんより手記の投稿がありましたので
紹介いたします。
(匿名希望者です)

M子さんの日常

二〇一七年十一月より自分にとって初めての仕事の介護家事援助サービスでM子さんにお目にかかる。朝八時M子さん宅へ、「おはようございます」の挨拶の後、取りとめのない世間話をしながら一時間弱、M子さんをお迎えに来るデイサービスの方々に引き継ぐのが私の仕事。具体的には、デイサービスに行くための持ち物準備のチェック、服装のチェック、話し相手といったってシンプルなもの。

探し物も楽しく

十一月末日

「おや、今朝もメガネがないよ」
二人して「メガネさんヤーイ」
「どこに隠れているの」と言いながら探す。すぐ見つかること

もあるけれど、今回はあちこち隅なく探しても見つからない。

「メガネがないと、今日はデイサービスに行かない」といつものように言い出すM子さん。

「きつとあるよ。家の中のことだもの」「メガネさんが見つけてくれるのを待っているよ」とさらに探すこと十分くらい。

「まあこんなところに」とM子さん。「よかったね」「台所の棚のうえに隠れていたのね」といった具合。

探し物が財布の時は、さすがにあわて戸惑ったが、迎えに来てくれた施設の方が見つけてくれることもあった。だが、そのうち慣れっことになり探し物の時間は短くなっていった。そして物探しも楽しい時間になった。というのも物忘れすることは自分も良くあり他人事ではない。

自分も同じ道をたどるかもしれないという気持ちがあるから時々少しわがままをいうM子さんがたまらなく愛おしくさえ思えてきた。

共に老いていく今、M子さんの時間を少しでも楽しく共有しようと思う。最初のころ固く心を閉ざしていたのに次第に打ち解けてくれてありがたい。

読み物に興味を

通い始めて三ヶ月ぐらい、M子さんは少し心の余裕ができてきたようだ。探し物の時間もほとんどなくなってきた。そこで余裕の時間は新聞を声に出して読むようにした。毎日続けてみると、M子さんが記事によって耳を傾けてくれる。時には相槌をしてくれるようになった。図書館で借りた童話の本も試してみたが、これは、反応はよろしくない。市報朗読は記事によって反応し意見も言うこともあり、フィクションより現実の話の方が身近で分かりやすいのだろう。当然の事かもしれない。

いつも和やかなM子さん

M子さんの裏庭に、可憐な白いドウダンツツジの花が見事に、たくさん咲き灯っている四月、お世話をするようになって半年が過ぎた。最近M子さんの笑顔が増えて見違えるように生き生きしている。はきはきとものが言えて正しい判断ができる。彼女に和やかな気持ちが蘇ったようだ。このことを誰かに告げたくなる。

数日後、デイサービスのお迎えの職員さんが「お陰様でM子さんは、施設で以前は怒りっぽかったのに最近穏やかになりました」との伝言。「そして相手を思いやる気持ちが戻ってきています」とも。やったあ。やはりM子さんの気持ちが次第に安定してきたことは事実である。そして施設での彼女の様子を伝えてくれる職員の温かい気持ちも伝わってきて、ほっこりした。ありがたい、よかった。

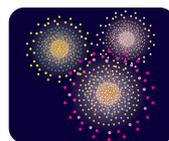
二〇一八年六月十二日

(次号に続く)

清掃ボランティア活動のお知らせ

花火大会後清掃ボランティア

八月六日(月)朝六時より、舞鶴橋と弁天大橋の河川敷で花火大会後のボランティア活動を行います。毎年、会員さんと職員が行っているボランティア活動です。早朝の気持ちのいい空気を吸いながら、ボランティアをしてみませんか？



お待ちしております。

大分駅南側「いっいの道」広場

清掃活動

十一月の下旬に大分駅南側、芝生が広がる「大分いっいの道」広場での草取り、ゴミ拾い等の清掃活動を行います。



前回、シルバー会員の手の良さに大好評をいただきました。

ボランティア活動については後日事務局だよりにて詳細をお伝えします。

安全就業のために

昨年は事故が多発し、非常事態宣言を発令する残念な事態となりました。今期は昨年を教訓に安全委員会を中心に安全就業への取り組みを展開してまいります。会員一人ひとりが安全意識を持ち事故ゼロを目指しましょう。

安全就業への取り組み

一、安全パトロールの強化



二、「安全標語」「ヒヤリ・ハット」の募集

三、事故分析と対策

四、安全ニュース等による広報活動

尚、事故発生時は速やかに事務局まで、報告をして下さい。

新入職員紹介

この度5名の職員が仲間となりました。どうぞよろしくお願いいたします。



業務班(開拓)

村山 武史

会員の皆様にお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



業務班(派遣)

高橋 浩二

これまでの民間企業三十八年の経験を活かして微力ながら入会者の就業紹介に尽力したいと思います。



業務班(開拓)

村山 剛

営業的な仕事は初めてですが、就業開拓員として会員の方々の雇用の拡大に全力を尽くします！



業務班(継続・派遣)

黒江 清司

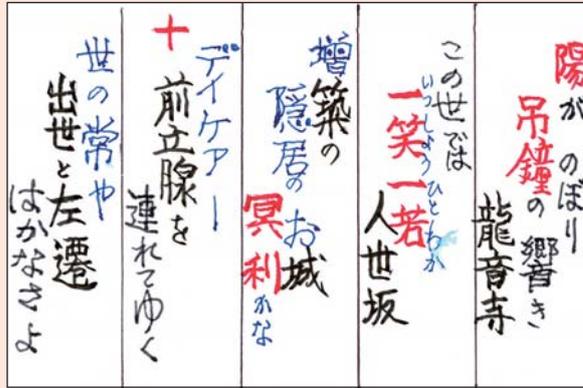
まだまだ仕事には不慣れなところもありますが、お役に立てるように頑張りますので、よろしく願いたします。



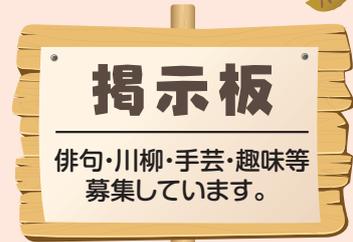
業務班

中島 真人

剪定・草刈の業務として頑張っておりますので、ご指導よろしく願いたします。



原田博文(城南班)



仕事の出来る人 選ぶより
出来ない人ほど同調し
仲が良い

富原新八(寒田B班)

今もなお 光り輝く 元ヤング

銀色が がんばって今

金になる

中塚又二郎(中島B班)

亡母の癖 二つ三つと

もらいうけ

我を捨てる 余生楽しむ

老の知恵

四童子弥生(南大分A班)

改築の 壁に刻もう 家族愛

身の丈に もしもの備え

して生きる

後藤由紀子(戸次A班)



短歌

炎天下 愚痴もこぼさず

草取りの 我が正体を

我に問うなり

世に生きて 在りし証だ

猛暑日の 昼の日中を

鳴き尽くせ 蝉

衛藤勝行(判田東班)



俳句

五月雨に 思い馳せたる

我が路よ

梅雨ぞらに とりのさえずり

こころよし

吉良麻里子(判田西班)

シルバーだより

道標 第12号

●発行/平成30年7月25日

●発行所/

公益社団法人 大分市シルバー人材センター
〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号
TEL 097-538-5575
FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

<http://oita.o-sjc.com/>

●会報編集委員

幸野正市・後藤幸敏
那賀美保・池邊義幸



編集後記

定時総会も無事終了し、会員数の増加、契約金額の伸びなどを報告出来て、ホッとしているところです。

西日本の集中豪雨により多くの方々が命を無くしております。自然災害の恐ろしさを突きつけられました。

これから暑くなりますが、就業には細心の注意を払い、事故を起こさないように気を付けましょう。